

平成24年度財団法人盛岡市文化振興事業団自己評価表

※評価の基準

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 目標が達成できていない |
| 2 | 目標が達成できていない面がある |
| 3 | 目標が達成できた |
| 4 | 目標よりも優れて達成できた面がある |
| 5 | 目標よりも優れて達成できた |

【法人運営】

評価項目	評価	備考
1 目的に添った運営に努めている	4	
2 職員の資質の向上に努めている	4	
3 適正な人員配置に努めている	4	
4 経費の縮減に努めている	4	
5 個人情報適正に管理されている	3	

現状と課題

・管理施設の増加に伴い、業務や事業の範囲が広がってきている。このため、それぞれの分野における職員の専門性を高める研修等の実施が急務となっている。
 ・・公益法人会計基準の変更や、管理施設の増加に伴い、事務の細分化、業務や事業の範囲が広がってきているため、経理システム等の活用を充実させ事務の効率化や一体管理等をより一層進めていく必要がある。
 ・管理施設の増加や東日本大震災を教訓に、危機管理体制の確立やマニュアルの整備を図る必要がある。

【芸術鑑賞事業】

評価項目	評価	備考
1 ホール特性・設備機能を活かした事業を実施している	4	
2 市民ニーズを把握した事業を実施している	4	
3 計画通りの入場者数を達成することができた	2	
4 計画通りの収入率を達成することができた	3	
5 計画通りの来場者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

・各館の特性を活かした公演・展示等の事業は、アンケート等からも市民ニーズを反映し、満足度の高いものであった。しかし、昨今の経済活動の停滞傾向はチケット買い控えにも表れており、一つひとつの事業の魅力を最大限にPRし、購入意欲につなげることが必要である。
 ・公的助成金や企業協賛金等の確保・獲得に一層努めていかなければならない。

【文化会館活動事業】

評価項目	評価	備考
1 ホール特性・設備機能を活かした事業を実施している	4	
2 市民ニーズを把握した事業を実施している	4	
3 計画通りの参加者数を達成することができた	2	
4 計画通りの収入率を達成することができた	4	
5 計画通りの来場者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

・講座・ワークショップ受講生(参加者)の満足度は高いレベルを得ることができている。
 ・公演やコンサート型の文化会館活動の入場者の満足度は高い。
 ・一部事業で、参加者(来場者)数が目標に達しないものもあった。新しい参加者層を取り込めるよう、継続事業の精査やより多彩なプログラム開発が求められる。

【博物館】

○先人記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特性を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○原敬記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特性を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○てがみ館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特性を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

・現在、建物自体は経年の割には然程問題ないが、今後課題となってくるのは、節電対策等を含め、電気関係施設の劣化である。
 また、音声ガイド等、館内視聴覚施設の充実も、時代の流れに合わせ必要になってくると考える。
 ・ここ数年、来館者数は安定している。しかし、今後は利用者拡大のため、来館のリピートと合わせ、新しい世代への働きかけも必要であるとする。特に若い世代は新市場であり、これからも学校教育とのタイアップは不可欠である。
 ・館の存在や意義、活動等の周知が、今一つ十分でない様な感じを受ける。従来にも増して広報活動に工夫を加え、展示の紹介や企画の話題性、そして新鮮さもアピールすることが大事であるとする。広報媒体が限られていることが課題である。
 ・学芸員という専門性の高い職種の性質上、長期的な人材育成システムの構築が望まれる。
 ・来館者の声に「場所が分りにくい」というものが目立つ。案内表示板の設置が望まれる。
 ・施設の経年劣化が顕著であり、それに伴う予算内での修繕・敷地内の樹木に発生する害虫駆除等が追いつかない状況であるが、来館者へ不便を掛けないように、また、市の財産の適正な管理維持の為、総務部、盛岡市教育委員会と協議しながら修繕等を速やかに実施してゆく必要がある。
 ・施設利用(生家開放など)について、より利用者のニーズに応えられるように工夫を図る。
 ・震災の影響もあり、前年度よりも各月の来館者が減少している。
 ・前年度より来館者は増加しているが、さらなる増加のために広報活動を進めていきたい。
 ・盛岡てがみ館であら開館当初より、収蔵庫に空調設備がない。今後の資料保存のためにもエアコンをつける等対策の必要がある。

【文化会館・公民館】

○盛岡市民文化ホール

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○都南文化会館・都南公民館

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 施設の特性を活かした公民館事業を展開している	4	
6 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○盛岡劇場・河南公民館

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 施設の特性を活かした公民館事業を展開している	4	
6 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○渋民文化会館

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

・施設の経年劣化に伴い、随時可能な範囲での修繕を実施しているが、故障・不具合が発生してからの対応のみではなく、中長期的計画に基づく予防対応が必要である。特に大規模修繕については、予算措置も含め計画的な実施が必要である。また、舞台設備等の更新についても担当課へ提案や協議することとしたい。

・文化会館、公民館併設館においては、利用区分時間の相違や早開け時の料金設定等の違いなど、両施設を併せて利用する利用者対応において、不都合な点がある。利用者・管理者どちらにとっても明瞭な規定等が必要である。

・利用率が低いもしくは下降傾向にある施設については原因の追及と利用率の向上への方策を検討し実施していく必要がある。

・震災からの復興に関連し、利用も増加傾向にある。震災からの復興に向けてサービスの向上に努め利用がさらに増加するよう努めたい。